

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハートたかた			
○保護者評価実施期間	R7年12月1日		～ R7年12月31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14家庭 19名	(回答者数)	10家庭
○従業者評価実施期間	R7年12月1日		～ R7年12月31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年1月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな場所やイベントへの参加をしている(実際に体験しながらSSTが学べる) 戸外遊びの活動が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共の場でのイベントにも積極的に参加している 発達段階に合わせて公園を選んでいる。 一般の子ども達とも一緒に遊べるように公園では声をかけて一緒に遊んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用する子どもによって行き場所を変えていく。 「できない」「無理」ではなく、どうすればできるようになるのかを考えて計画を立てる。 チャイルド4事業所との合同での活動を増やしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 月に一度以上の保護者様を交えた活動を行っている。(保護者様同士の交流の場を設けている) 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様も活動に参加できるイベントを考えている。 母親だけでなく父親や兄弟児にも参加していただき、家族全員で楽しんでもらえる活動を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様同士で話ができる場の提供をする。(活動をしながらだとゆっくり話ができない) 兄弟児が多い家庭でも気楽に参加できるよう費用などを抑えた活動を考えていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> コグトレを行い、発達に合わせた練習をして小学校入学までにできることを増やしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応する子どもと小集団で対応する子どもに分けコグトレの時間が充実した時間となるようにしている。(個室を使い周りの情報が入らないようにする。) 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して年齢に合わせたコグトレの計画をする。 小学校への入学までに行うことを見える化し、目標を作る。
4	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービスとの移行支援が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービスへの移行利用が決まった児童に対して練習をして小学校に入学したときにスムーズに移行できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> お互いの事業所間でのケース会議や情報共有などをきめ細やかに行っていく。
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保育園や幼稚園との交流がない 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童が通っている幼稚園や保育園は先生との話はするが、子ども同士での交流には至っていない。話をしても忙しい中、難しいのだろうなと思ってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 一度、子ども同士の交流の話をしてみる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援から同法人の放課後等デイサービスに移行できる児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービスを卒業していく児童がいないうえ、定員に空きが出ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービスの利用児童を卒業に向けて支援していく。
3			

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドハートたかた		公表日		R8 年 2 月 15 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	個室もあり支援にも活用できている	個室がもう少し欲しい。落ち着ける場所作りの改善が必要と感じる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		今現在は職員数は足りている。	未満児が増えたり特性の強い子がいる日には足りないと感じる時があった。新しく異動してきた職員への支援の仕方をしっかりと伝えていかなければならない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	玄関先でこままいように少人数で名前を呼んで靴を履くようにしている。	玄関が狭くて少し使いづらいので、すのこを置いて広く使えるように工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		子ども達が帰った後で掃除を徹底している	消毒などを利用して衛生面には気を付けている。また、危険の内容に角にはクッション性のあるカバーを付けている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		パニックになった時は落ち着いて使える場所として使用している 遊びによって部屋を変えている	物置きとして利用している部屋の整理整頓をしていく。物が倒れないように置き方を変えたり、ラックを買うなどをしている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	終礼ではPDCAサイクルを意識して話し合いをしている。	PDCAサイクルが何かがわかるようポスターを張っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者会はもちろん、送迎時、電話などでも話を聞くようにしている。	終礼などで職員全員で情報共有している。改善が必要な場合はその都度会議を開いている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		気になったことがあれば朝礼や終礼でその都度伝える様にしている	アルバイト、パート職員が朝礼終礼に参加できないときがある。次の出勤時に伝達を必ずしている。発言する職員としない職員がいるので全員が発言できるような気を付けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		無回答1名 本部による評価が毎年何度かある。	第3者の評価を受けることで気づけることがある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		外部の研修にも行かせていただいている。また、本部による研修が充実している。	他の事業所との勉強会もあるため刺激になる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		プログラムは作成している	ホームページや機能訓練室に張り出している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		アセスメントは担当職員を決めて全員で取り組んでいる。	正社員とパート、アルバイトでの分析の違いがあるため、作ったアセスメントは全員に回覧して確認している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員全体で話し合いをしている。個別支援会議を毎月行っている。	個別支援会議を行いながら児童の今の課題やニーズを出し合い、全員で計画を決めている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		みんなで同じ様な支援ができるよう朝礼で毎回周知している	細かいところまで伝え、支援の方法が誰でも同じにできるようにしている。理解できないところは指導員がついて伝達している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		無回答1名 個別支援会議でその時に必要なアセスメントを行っている。	アセスメントは都度都度見直し、常に更新している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		無回答1名 5領域で計画を作っている。	難しい計画書より、計画書を見た誰もがわかる計画書にしていきたいと今改善中である。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		無回答1名 毎月週案会議を行っている。	週案会議をする時にはいろいろな情報をみんなで持ち寄っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		無回答1名 児童にあったプログラムをその都度変えている	週案会議をする時にはいろいろな情報をみんなで持ち寄っている。(特にイベント情報)

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		無回答1名 児童にあったプログラムをその都度変えている	週案会議をする時にはいろいろな情報をみんなで持ち寄っている。(特にイベント情報)
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		無回答1名 朝礼、終礼の際に詳しく情報交換を行っている	申し送りを残して読んでもらっている。できるだけわかりやすく分にして残すよう気を付けている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		無回答1名 朝礼、終礼を行っている	終礼に参加しない職員はその時の様子を伝えて帰るようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		無回答1名 支援記録をその日に書いている	何か特別なことがあった時にはセルの色を変えるなどして見直したときにすぐにわかるように工夫している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		無回答1名 必ずしている。	モニタリングは職員全員で行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		無回答1名 子ども理解シートを作成して望んでいる。	担当職員を都度変えて、職員全員が出席できるようにしている。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		無回答2名 どちらも言えない1名 幼稚園や保育園とは連携をとっている。	必要に応じて会議を行っている。(関係機関連携加算算定)
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		無回答1名 就学先の小学校に向けてつながりファイルを作って渡している。	毎月の評価を幼稚園、保育園に渡している。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		無回答2名 その様子を詳しくまとめたものを共有している(つながりファイル)	要望があればその都度作成している。年度末には必ず作成している。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1	無回答5名 今年度はしていない。	今後は行いたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	無回答2名 今はしていない。	今後行って生きた。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時に保護者様に様子をお伝えしている	連絡帳も利用して伝えている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	保護者会の時に機会を作っている。	毎月保護者会を行っているため、少しずつ伝えることができている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		詳しくお伝えしている	契約の際にお伝えしている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		ご家族の意見を聞いている	子どもたちにも何を頑張るのかを聞いている。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		モニタリングをする際に説明後に同意を得ている。	保護者様からの意見が出た場合は計画を変更してから同意を得るようにしている。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		ご相談があった場合時間を取り面談を行っている	チャイルドだけでなく、相談員さんにも来ていただくことがある。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		月に一度保護者会を開いている。	兄弟児も誘っている。季節によつてのイベントを考えて楽しんでいただけるよう工夫している。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		すぐに対応できる体制を整えている。	保護者様からの相談には職員全員で対応できるようにしている。知らない職員がいない。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		SNSにて情報発信をおこなっている	出来れば毎日の更新を心掛けている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		カギのある書庫、カギのある部屋にて保管している。	インスタなどは顔を隠す等、気を付けている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		絵カードなどを使いコミュニケーションが取れる工夫をしている。	療育、訓練などで行っている様子を教えてくれるのでチャイルドの支援にも取り入れている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	無回答3名 イベントの時には地域の方をお呼びしている。	腹話術やかき氷屋さん、地域の会社の方との交流をした。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		訓練をしたときにはおたよりに乗せたりインスタに乗せて発信している。	情報は発信しているが、それを見ていない保護者様がいらっしゃることで今後はどのように伝えていくのかを検討する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		月一で違う課題を訓練している	BCPの策定は毎年見直しをして、その時々訓練ができるようにしている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		無回答1名 服薬はお断りしている。	体調の様子はその都度お聞きしている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		無回答2名 いない	今はアレルギーはいないが、アレルギーがあるお子さんがいるときには職員がわかるように掲示していた。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		無回答1名 毎月行っている。	毎月安全点検を行っている。 保護者様にはお便りでお伝えしている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		無回答1名 チャイルドシートにロックをかける場合などは保護者様に同意を得ている。	重大な事故などが怒った時には緊急会議を行って対応と対策を検討している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		小さなことでもヒヤリハットとして記録を残している。	ヒヤリに対して今後どうしていくのかを必ず検討会を持っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		本部による虐待研修が毎年ある。	毎日終礼の時に「小さな出来事」として挙げている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		身体拘束についてはその都度保護者様に説明をしている。計画書にも記載している。	事業所内でも毎月身体拘束委員会を行っている。	